

栽培管理システムから得られたセンシングデータを協議会内で共有し、生産者間で収穫順位を検討するとともに、データに基づく可変施肥を行うことで、生育の均一化と肥料コストの低減を図る。
さらに取組成果を協議会内で共有し、普及センターから助言をうけることで、次年度の栽培管理の検討を行う。

経営上の課題

- ・秋まき小麦について、近年、平均気温が25 以上となる猛暑が続くことにより高温障害が発生し、収量および品質の低下につながっている。

スマート農業技術を活用し、データに基づく栽培管理により、生育の均一化を図るとともに適期収穫を徹底することで品質を確保する必要

申請者：

池田町ICT農業推進協議会（北海道池田町）

対象品目：

小麦

スマート農業技術：

栽培管理システムによるリモートセンシングデータの活用

新たな生産方式：

栽培管理システムから得られたデータの共有・分析

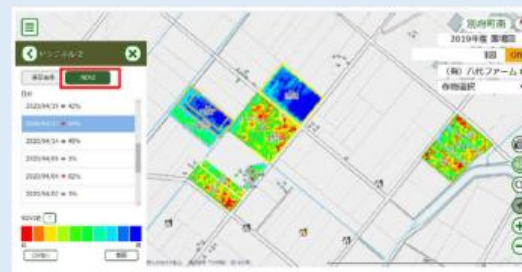
活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

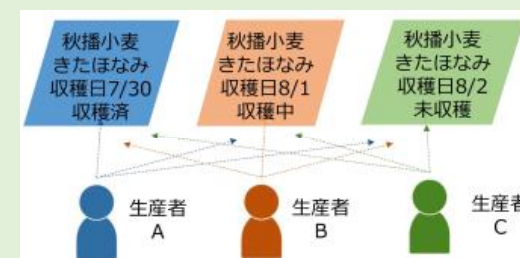
栽培管理システム



栽培管理システムによる生育状況等のデータを活用

新たな生産方式

データの共有・分析



センシングデータを協議会内で共有・分析し、データに基づく収穫順位の検討や可変施肥を行う。